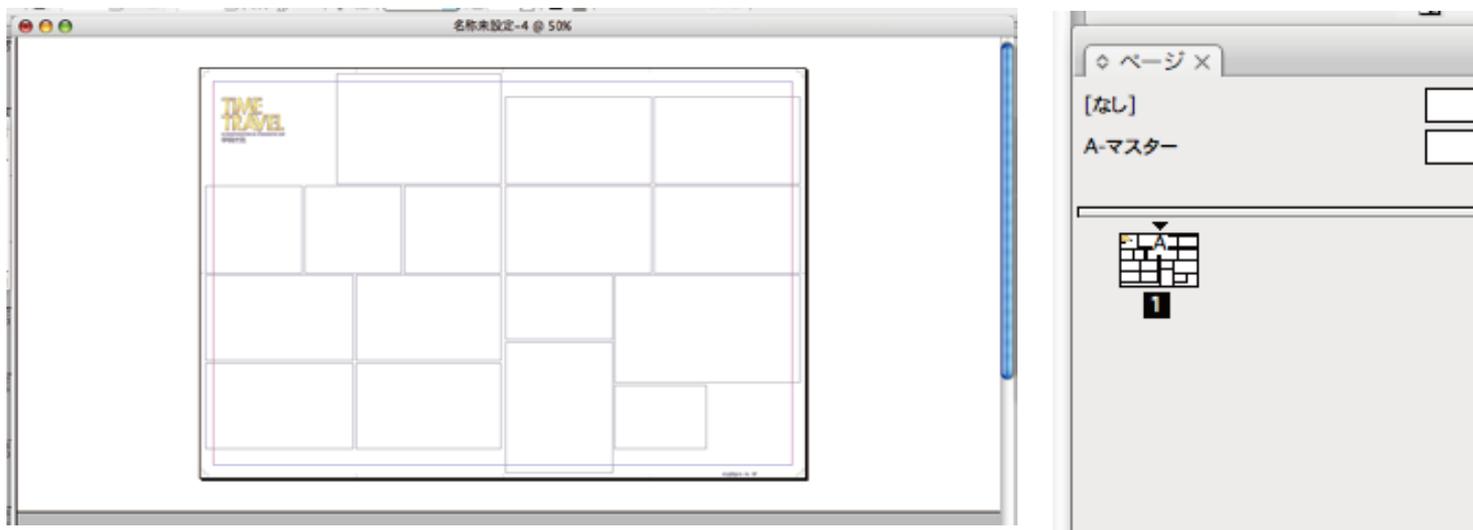


# In Design アルバム編集マニュアル

当社ではご希望のお客さまにレイアウトデータ(以下プレゼンデータ)を提供しております。  
当社プレゼンデータはすでに矩形やタイトル、背景などが入ったデータです。  
ここでは、そのプレゼンデータを利用した編集方法をご紹介します。

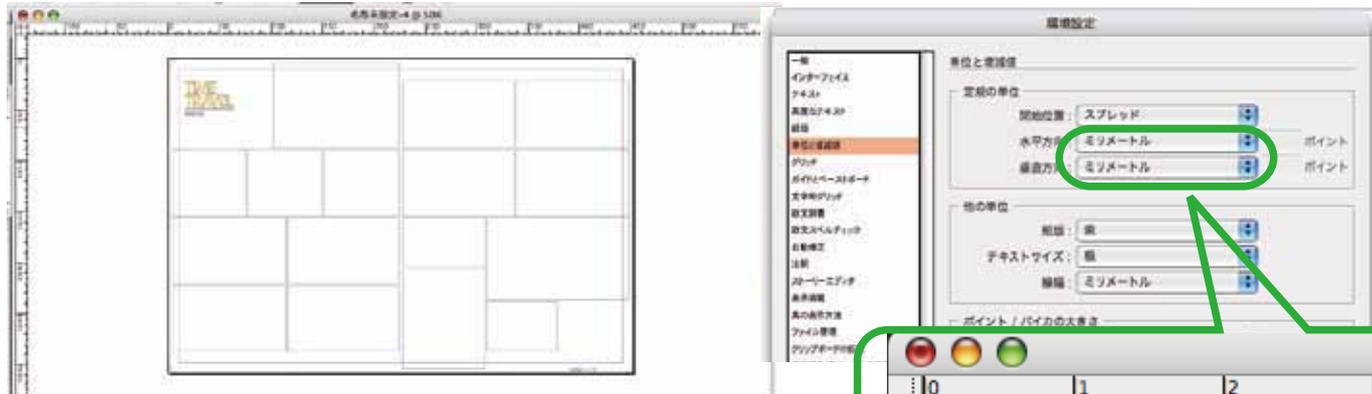
## ★画像をレイアウトしていきましょう★

- 1) プレゼンデータを開きます。インデザインはお客様でお使いの Ver での保存形式になります。  
カラーモードはCMYKでデータが作成されています。当社では InDesignCS3 を使用しています。  
CS3 以下の Ver の方はプレゼンデータの拡張子が「inx」のついたデータでお渡しいたします。  
編集する際は、**画像はRGBで、他のオブジェクトのカラーモードはCMYK**で制作してください。



- 2) 表示から「定規を表示」を選択します。画像の周りに定規が表示されます。

※定規の設定はインデザインの環境設定で自由に設定できます。使いやすい設定に変更して使用してください。



- 3) 定規の表示ができればガイドやグリッドを使って仕上がりやセンターの位置を表示させておきましょう。出来上がりの予想ができます。

※ガイドは上か左の定規が表示されている所から  このツールに変えてからクリックしたまま移動します。水色の線が表示されます。

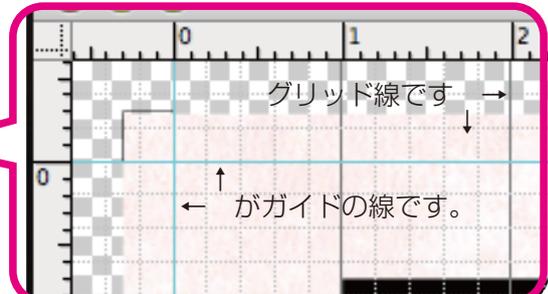
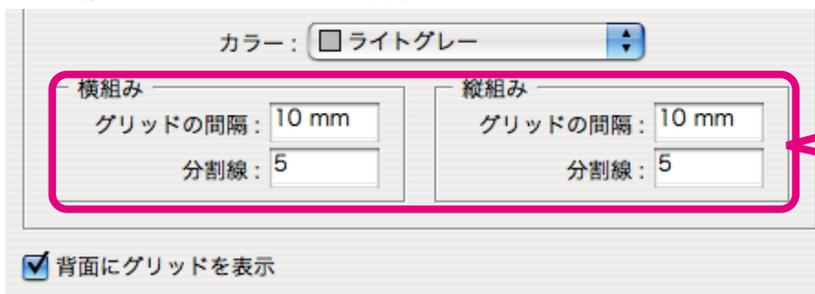
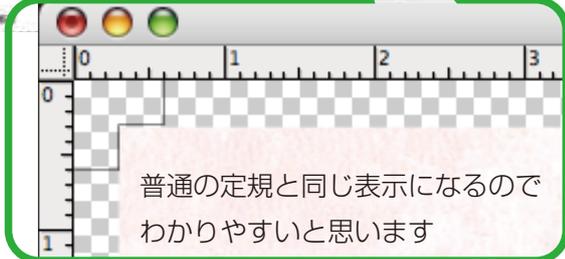
この線がガイドの線になります。

※グリッドは環境設定での数字入力になります。(定規の設定をした場所で行います。)

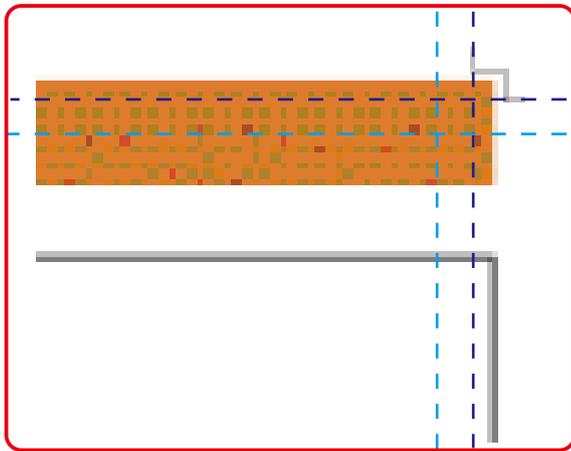
環境設定→グリッド…を開きます。グレー色の太い実線と 2mm 間隔の破線ができました。

(表示のさせ方は「表示→グリッドとガイド→ドキュメントグリッドを表示」で表示されます)

グリッドやガイドに吸着させながら配置したい場合は「表示→グリッドとガイド→グリッドにスナップ」に設定するとその線にひっばられるように配置します。

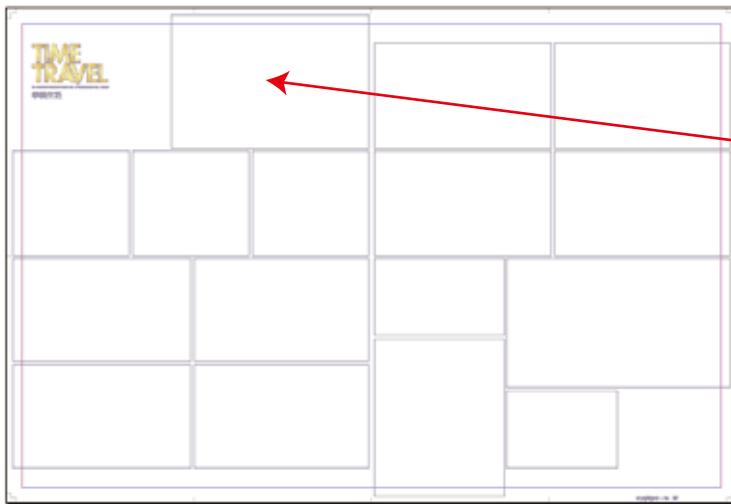


※仕上がり（青線）、仕上がりからの余白 4mm（水色線）、センター（アルバムの折り目）の場所にもガイドをひいておきましょう。

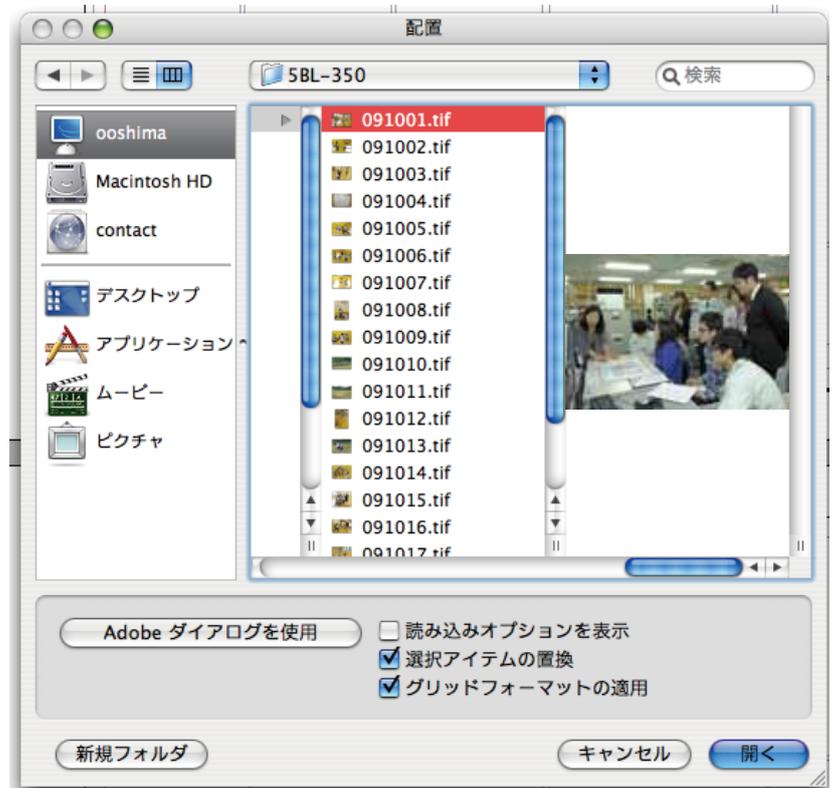
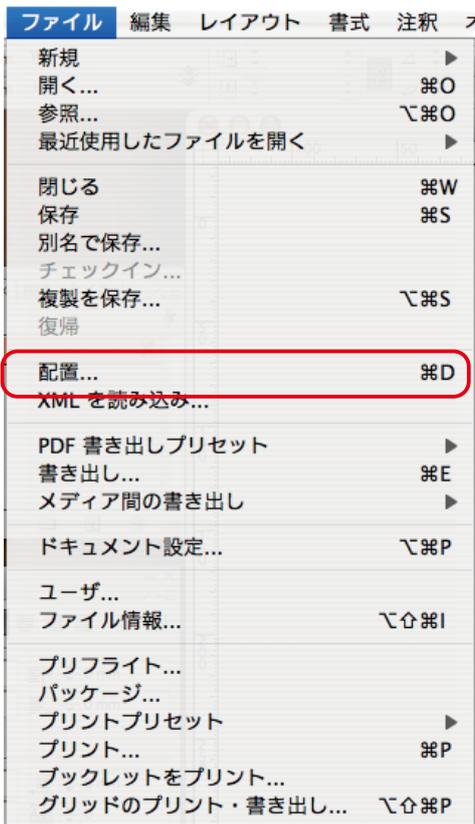


※当社では裁ち落とし部分は余分 3mm 必要です。  
余白を入れる場合は仕上がりから 4mm 内側に配置する決まりがあります。センターは顔がかからないようにするため、初めにガイド線を引いておくと目安になります。

4) プレゼンデータにレイアウトしたい画像データを配置します。（解像度 350dpi に変更済の保存したデータ）



5) プレゼンデータの矩形を選択し、「ファイル→配置」を選択します。配置したい画像を選択します。

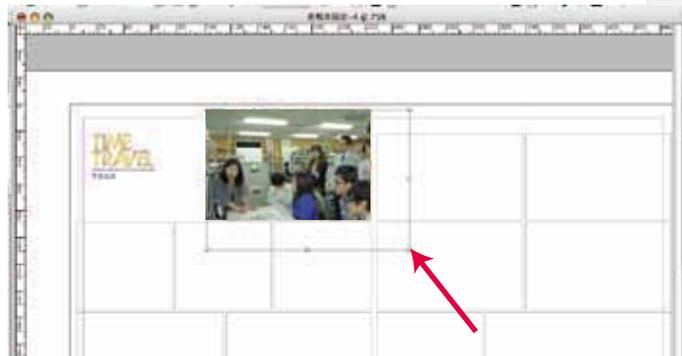


6) 選択した矩形の中に画像が配置されました。

トリミングが必要な場合は、ダイレクト選択ツール



で画像をクリックすると画像の配置された大きさがわかります。



画像の四角に出ているボックスの1つをマウスで触ると、表示になります。

キーボードのShiftキーを押しながら動かすと変倍せずに意図したトリミングに調整できます。

トリミングは数値を入力しても調整できます。

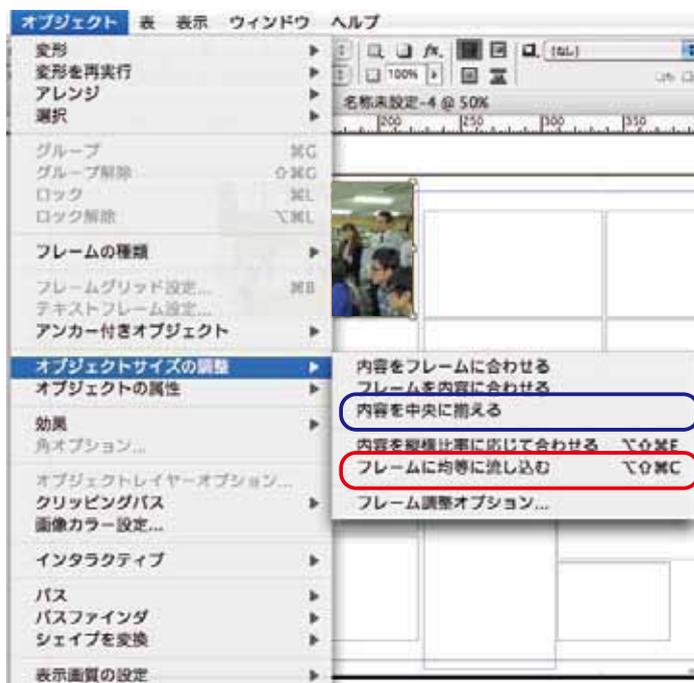


※フルトリミングで使用する場合は、こんな方法もあります。

①画像を選択します。

②「オブジェクト→オブジェクトサイズの調整→フレームに均等に流し込む」をすると、矩形の大きさに画像を自動的に拡大縮小します。

③再度「オブジェクト→オブジェクトサイズの調整→内容を中央に揃える」で画像が真ん中に配置されます。



7) 画像配置にはもう一つ便利な機能があります。

画像をまとめて配置する方法です。

(この機能は CS3 以降での機能になります。)

6) で矩形を選択してからの配置方法でしたが、矩形は選択せずに、画像をまとめて選択します。「ファイル→配置」までは同じです。配置したいファイルをまとめて選択します。



画像のプレビューが表示された画像が出てきます。

入りたい矩形に順次クリックしていくとその矩形に画像が配置されていきます。



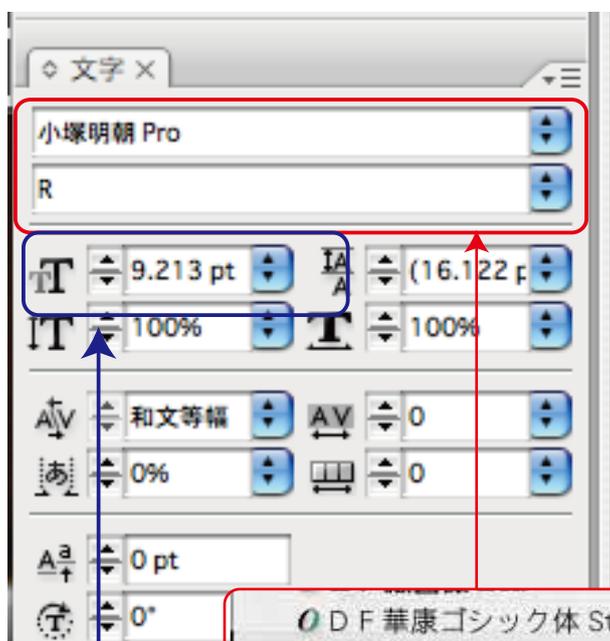
8) 4~7の作業を全ての矩形に対して行います。画像配置終了です。



9) 文字を修正したい場合は修正したい文字を文字ツール  で入力します。文字ボックスを作成してから文字入力をします。文字パレットを表示させたい場合は「書式→文字」で文字パレットが表示されます。

文字パレットで書体の変更や大きさの変更などができます。

※書体を統一してください。当社書体は「博進堂ゴシック W3」を使用しています。書体を差し上げることはできませんので、似た書体で修正をするか、全てのページを打ち直していただくかのいずれかになります。



文字の大きさを  
変更できます



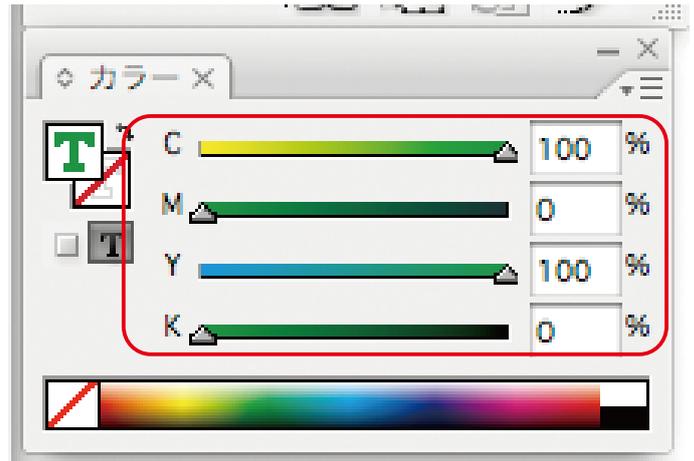
文字の種類を変更できます  
お持ちのパソコンによっても種類が違います。  
どんな種類の文字があるのか色々変更  
してみるとわかります。

- D F 華康ゴシック体 Std
- D F 華康明朝体 Std
- D F 行書体 Std W5
- D F 超極太ゴシック体 Std**
- D F 超極太丸ゴシック体 Std**
- D F 超極太明朝体 Std
- D F 超極太楷書体 Std
- D F 倉又備 Std W3
- D F 隷書体 Std W5

10) 文字の入力をし、確定したら文字のグラフィックス化をします。「書式→グラフィックス化」

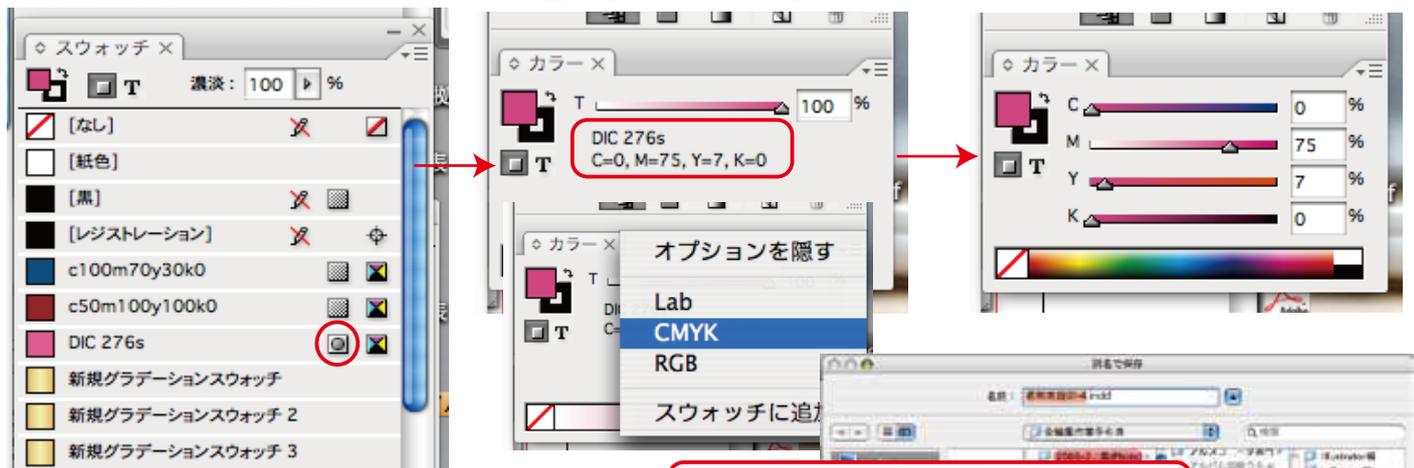


※文字のグラフィックス化処理をしないと当社ではパソコン環境が違うため同じ表現ができなくなります。必ずグラフィックス化処理をしてください。グラフィックス化後は文字修正はできなくなりますので、文字間違いなどよく確認した上でグラフィックス化処理を行ってください。文字の色指定は CMYK 指定にしてください。書類のカラー設定がRGBのままでは、文字の指定をCMYKにしてもRGB指定に変わってしまいます。カラーモード設定は当社プレゼンデータより変更されないようお願いいたします。



※色指定はCMYKの数値を入力するかスウォッチを選ぶなどして色を指定していきます。

スウォッチで選んだ場合は特色指定が混ざっているので注意してください。(特色の色指定をすると名前がつきます。そのままですと4色の他に特色の名前の色ができます。4色刷り+特色1版という形になりますので、色指定がめけた状態で印刷される可能性があります。) **特色指定はCMYK指定にしてください**



11) indd形式で保存します。

リンク画像も一緒にいれてください。  
ただし、きちんとフォルダ分けをしてください。

12) 出力紙はA4サイズでかまいませんので出力をお願いします。

(当社でデータをチェックする際、見比べるものが無いと判断に困るためです。)

13) メディアに出来上がった indd とリンク画像データを書き込み、出力紙とともに当社にお送りください。

